

航空機生産工学 (増補改訂第4版)

半田邦夫 / A5判上製 324ページ 本体 4,000円



ライト兄弟が世界最初の有人飛行に成功して以来、航空機は飛躍的な発展を遂げた。そして、その近代化と性能の進歩を支え続けた生産技術もまた、同じ長い歴史を歩んでいる。

本書は、現代科学技術の粋を集めた航空機システムを、とくに機体製造に関して一貫した“モノづくり”の視点からとらえ、300余点の図版と写真を駆使して体系的に解説した、世界にも類のない航空機生産技術書である。

航空機・ロケットを始め、通信、計測、精密機器など関連分野に携わるすべての技術者はもちろん、将来この分野に進もうとする人にとっても、普遍的なテキストブックといえる。

- Part.1 日本の航空機産業の発展
- Part.2 製造計画
- Part.3 航空機構造材料
- Part.4 治工具計画
- Part.5 板金加工
- Part.6 機械加工
- Part.7 金属接着と複合材成形加工
- Part.8 溶接とろう付け，特殊加工，精密鋳造
- Part.9 表面処理と塗装
- Part.10 構造組立と艤装，整備と試験飛行，定期修理，品質保証